

向日市文化資料館

2024 テーマ展示

向日市・乙訓の石碑



上羽先生記念碑

令和6(2024)年

3/9 (土) 5/6 (振休) 月

開館時間 | 10時～18時 (入館は17時30分まで)

休館日 | 毎週月曜日 (ただし4/29[昭和の日]は開館)、4/2(火)、4/30(火)、5/1(水)

朝日稲(旭米)顕彰碑

向日市寺戸町天狗塚の墓地にある江戸時代の学者・文人の墓碑や、向日市・乙訓地域にある記念碑を、写真や拓本で展示して紹介します。

テーマ展示関連の催し

歴史講座Ⅰ〈全2回〉

- ① 3月10日(日) ② 3月17日(日)
- どちらも 10時30分～12時

「明治・大正の乙訓漢文石碑を読もう」

講師：金 文京さん (京都大学名誉教授)

ある出来事や人物の功績を永く記念するため、石に文字を刻んだ石碑が建てられますが、江戸時代から明治・大正期の石碑には、漢文で記されたものが多く残されています。石に刻まれた文字から、日本における漢文のひろがりや歴史について学びます。

会場：向日市文化資料館研修室

申込み：2月2日(金) 10時から直接または電話で向日市文化資料館へ。定員 40人(先着順)。

歴史講座Ⅱ〈全2回〉

- ① 3月23日(土) ② 3月30日(土)
- どちらも 10時30分～12時

「古文書を読もう」

—幕末京都の文人2 名産贈答—

講師：辻 真澄さん

(京都府立京都市・歴史館古文書担当元職員)

寺戸(現在の向日市寺戸町)出身の文人岡崎秀雄は、京の東山に居を構えながらも、向日里の名産を歌人大田垣蓮月をはじめ知人たちに贈っていました。秀雄宛の手紙を読み解きながら、当時の人々の贈答のありさまや向日里の名産に思いを馳せてみましょう。

入館無料



向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内 40-1
TEL 075-931-1182 / FAX 075-931-1121

<https://www.city.muko.kyoto.jp/kurashi/bunka/>

阪東向日駅から徒歩 8 分・JR 向日町駅から徒歩 15 分